

## 令和5年度第2回地域福祉推進委員会会議録

日時	令和6年2月28日(木)午前10時00分～午前11時45分
場所	産業会館1階 多目的ホール
参加者	<p>委員：加藤委員長、岡野委員、宮本委員、奥西委員、工藤委員、武藤委員、桶屋委員、田實委員、岸本委員、海老名委員、山上委員、堀田委員、緒方委員、俣委員、西委員、中村委員、藤田委員</p> <p>(欠席委員：迫委員、守本委員、奥田委員、神野委員、西村委員、土井委員)</p> <p>事務局：波戸瀬福祉こども部長、星川健康長寿部長、柏木福祉こども部副部長、鶴谷地域援護係長、池主任、社協：島崎事務局長、土田事務局次長</p> <p>傍聴者：なし</p>
事務局	<p><b>◆次第1 開会</b></p> <p>＜各委員が座席表のとおり着席していることを確認＞</p> <p>定刻となりましたので、始めさせていただきたいと思います。 本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>私、事務局を担当しております、福祉こども部副部長の柏木と申します。本日は体調不良により、地域福祉課長が欠席させていただいております。私どもが進行させていただきますたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>なお、本日は、迫委員、守本委員、奥田委員、神野委員、西村委員、土井委員からの欠席のご連絡いただいております。</p> <p>つきまして、委員の皆様にご報告させていただきます。 本委員会は「宇治市地域福祉推進委員会の会議の公開に関する要項」に基づき公開とさせていただいております。 また、委員会終了後、発言者名は記載せずに会議録を作成いたしましてホームページにて公開させていただいております。</p> <p>それでは次に、お手元にお配りいたしております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日使用する資料の中で、次第、資料1、資料2、資料4は事前に送付させていただいておりますが、追加として本日ご用意させていただいている資料がございます。それが資料2の補足資料、資料3、資料5、あと委員の方から情報提供の資料として、「宇治・食と子どものネットワークの設立について」というものを配布しております。</p> <p>お手元にある資料を順に、次第、資料1、資料2、補足資料、資料2、資料3、資料4、資料5、委員の資料となっております。</p>

事務局	<p><b>【資料の説明】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次第</li> <li>2. 資料 1 地域福祉計画 評価表</li> <li>3. 資料 2 第 3 期宇治市地域福祉計画 地位委福祉推進のプログラム ＜推進のめやす＞</li> <li>4. 資料 2 補足資料 「地域福祉推進のプログラム＜推進のめやす＞について</li> <li>5. 資料 3 令和 6 年度 主な推進施策について</li> <li>6. 資料 4 宇治市自殺対策計画 推進のめやす</li> <li>7. 資料 5 事前質問まとめ</li> <li>8. 山上委員 「宇治・食と子どものネットワーク」 の設立について</li> </ol> <p>資料の不足等ございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><b>＜資料の不備あり＞</b></p> <p>しばらくお待ちください。</p> <p style="text-align: center;"><b>＜不足している資料をお渡しする＞</b></p> <p>他の委員の皆様の資料もごございますでしょうか。大丈夫でしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><b>＜資料の不備がないことを確認＞</b></p> <p>はい。それではこれより会議の運営を委員長にお願いいたします。加藤委員長どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;"><b>◆次第 2 地域福祉計画 評価表について</b></p> <p style="text-align: center;"><b>◆次第 3 令和 5 年度 地域福祉推進のめやすについて</b></p>
委員長	<p>皆さん改めまして、おはようございます。</p> <p>それでは、次第に沿いまして、私の方で進行を担当させていただきます。</p> <p>本日、今年度の最終の第 2 回の推進委員会でございますが、次第 2 に、「第 3 期宇治市地域福祉計画の進捗管理方法について」、これが 1 点挙がっております。</p> <p>そしてもう 1 つ、次第 3 に、「令和 5 年度 地域福祉推進のめやす」について挙がっております。</p> <p>この 2 つに関しましては、関連しますので、両方一緒に事務局からご説明をいただいで、各委員様からのご意見ご質問を頂戴したいと思います。</p> <p>それでは、事務局、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;"><b>＜ 資料 1、2 について説明 ＞</b></p>
事務局	<p style="text-align: center;"><b>＜ 資料 1、2 について補足説明 ＞</b></p>
委員長	<p>それでは、ご意見いただく前に、(資料 5) 事前質問をいただいております。これにつきましても、事務局からご説明をお願いして、その上で皆様方からご</p>

委員長	<p>意見を賜りたいと思います。 これにつきまして事務局お願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">＜資料5 番号①、②、④、⑭について説明＞</p>
事務局	<p>(資料にない事前質問の説明)</p> <p>はい。あと私の方からの追加で事前質問票が届いておりますので、資料が間に合わず申し訳ございませんでしたが、口頭でご説明だけさせていただきたいと思っております。</p> <p>資料は、資料2の3ページのところで、「交通バリアフリー推進事業」が掲載されてますが、榎島・小倉地域からの移動手段がないということでご意見いただいております。</p> <p>それにつきまして、榎島の方は現在宇治徳洲会のバスもご協力いただいて、宇治徳洲会との連絡ですけれどもちょっと走っていただいているということがまず1つございます。</p> <p>あと小倉地域につきましては、中宇治の方につきまして、令和6年中でございますが実証運行として走らすという計画が京都京阪バスさんの方でございますので、またそちらの方も注視して参りたいと考えております。</p> <p>なお令和6年度の予算といたしまして将来の移動手段のあり方の検討費として予算を上げております。対応といたしますと都市整備部の方になるのですけれども、宇治市としても検討を進めて参りたいと考えております。</p> <p>次に、防災出前講座の方も充実として、資料2、6ページのことでご意見いただいております。防災出前講座につきましては、2月20日の洛タイ新報にも載っております通り、能登半島地震の後でやはりいろいろと派遣依頼がございまして、宇治市では危機管理課の方の職員を講師といたしまして町内会自治会、学校福祉議会、サークル、学校などに出前講座をやっております。今年は結構、件数的には現在92件行くということで、話を聞いております。</p> <p>続きまして救急救命の報酬の充実をということでご意見いただきました。救急救命の報酬は現在消防本部の方で対応しておりますが、応急手当の実施率を上げるために、報酬メニューというのを、一部変更して検討を行ってきたということですので。</p> <p>令和6年度から、その変更内容が実施できるように準備を進めてるということです。</p> <p>あと避難場所への移動が遠いというご意見もいただいておりますが、1度に多く人数を収容できるのは公共施設ということでございまして、小学校中学校の方で現在対応しているということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>最後、3つ目のご質問、地域住民への防災パトロールの推進ということで、高齢者子どもへの見守り、両隣の方への声かけというのを充実したらどうかということでご意見いただいております。</p> <p>こちらにつきましては、なかなか防犯パトロール中というような形で、令和4年には市民様にご協力をいただいて、啓発物を配布して、例えば水やりをしているときでもしっかりと見守っていただくというような取り組み、そして令和5年には事業者に対して、車両にマグネットをつけていただくという取り組みをして</p>

事務局	<p>おりまして、申請者としては約 100 社、今年度はいただいているということで、仕事しながらのながらパトロールというのをご協力いただいているというこの取り組みをしております。</p> <p>追加の質問は以上になります。説明、以上です。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>事務局から説明をいただきましたけれども、本当に熱心に読み込んでいただいて、事前質問で、とても大事なことも、あるいは文言の修正をしっかりとチェックしていただいたところでは、</p> <p>次年度の施策についても少し触れていただきましたが、これは後程しっかり別のところでご説明をいただくことになります。</p> <p>はい。それではただいまのご説明を踏まえまして、各委員様から、ご質問ご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>評価につきましては、先ほどおっしゃっていただきましたように、前回も少しご意見をいただいていたのでございます。</p> <p>実施計画に合わせての実施度を星の数で評価しているということです。</p> <p>ですから効果度、あるいは、課題を明確にすることや、改善に繋がることに踏み込んでない。そのあたりについては、ご指摘通りなので、説明にございましたようにしっかりと取り組めるように、この問題につきまして、前回もそういった説明があったところでもあります。</p> <p>かつ施策間の連携と申しますか、施策同士での繋がり、全体の評価ということも、これから非常に重要になって参りますので、その点も各委員からこれまでご指摘いただいていたところでもあります。しっかりと取り組んでいただきたいものがあります。</p> <p>いかがでございましょうか。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>はい。お願いします。</p>
委員	<p>よろしくお願いいいたします。</p> <p>私の方から事前質問ということで、かなりの項目の質問をさせていただいたので、今日説明は全部されなかったのですが、本当を言うと、もう少ししっかり持ち帰って中身を点検したいなどは思っておりますが。概略については、宇治市がご説明いただいた内容について、一部修正をしていただきましたので、私としては基本的には納得した内容になっていると思っております。</p> <p>委員長からもありましたように、やっぱり各施策をそれぞれの担当課でやっておられる関係で、微妙な差がどうしても出てくるのです。実績がほとんどなくても星 3 つの評価になっていたり、あるいは実績はある程度あるのだけど、星が少ない評価になっていたり、それぞれの担当課どうしの、横の調整を、地域福祉課がある程度調整して、宇治市として統一的に「こういう実績があって、こういう</p>

<p>委員</p>	<p>評価になっています。」という、そういうことが対外的にと市民にきちっと説明ができるような仕組みに、今後はしていただきたいというように思っております。</p> <p>それと私が一番感じておりますのは、資料2の&lt;推進のめやす&gt;ですが、例えば、令和4年度成果実績というのが、それぞれ（の事業で）記載されているのですが、その記載の仕方についてです。</p> <p>「実績数値としてはこういう数字でした。それで、計画通りできています。」という、読めばぱっと見ればわかる話がそのまま書かれているものがあったり、逆に、「この事業を実施したことによってこういう課題が見えてきた。あるいはこういうような、その効果が見えてきた。」という、そういうふうな書き方をしているものもありました。</p> <p>私としては、単なる数値的な目標が達成できたかできなかったかだけではなく、その施策によって、実施している内容が、どういう問題点をその施策の中で見いだすことができたのかとか、あるいは効果としてその施策の効果がどういう形で表われてきたのかとか、そういうことも含めたその成果実績になるように、地域福祉課の方から、担当課の皆さんに「こういうケースがありますよ。」というように、アドバイスをしていただいて、我々も単に数字が達成できたかできなかったかだけではなく、その背後にある、例えば達成できなかったのであれば、なぜそれが達成できなかったのか、そういったところも含めたやりとりができればいいのではないかなというふうに考えておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。以前から一貫して、ご指摘いただいている委員のご意見でございました。</p> <p>改めて受けとめていただきたいと存じます。</p> <p>（委員、挙手）</p> <p>はい。どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど委員長及び、委員さんのご意見に関連してちょっとしたことなのですが、もともと地域福祉っていうのは、一般に3つのゴールがあるとされています。</p> <p>1つは、「タスクゴール」といって、目標がいかに達成されたか。主にここに、数的に表現されてるのが、結局そういうことになってるのかなと思うのですが。</p> <p>2つ目は、「プロセスゴール」といって、いかにこの取り組みの中でみんなの意識がこう変わっていったか、あるいは高まったか、ということです。</p> <p>3つ目が、「リレーションシップゴール」ということで先ほど委員長もちょっと関連して触れられましたが、その取り組みの中で、いろんなどんな仕組みが生まれつつあるかとかどういう、協力体制ができつつあるかとか、いわゆる関係性に注目した視点で評価するというものです。</p> <p>それはかなり表現するのは難しいと思うので、そのプロセスゴールなり、リレーションシップゴールっていうのは、特記事項みたいな感じでもいいので、「特にここではこういうことがありましたよ。」とか、委員さんがおっしゃっていたようなことを文章でいいと思うので、証明されると（よいと思います。）これ見てるだ</p>

<p>委員長</p>	<p>けでは数字だけでできたかどうかということになるのですね。</p> <p>ちょっとやっぱり、これだけでは少し何か安全管理をするし、さっき言いました地域福祉は3つのゴールという視点がありますので、そこを大切にしていたいただいた方がいいのではないかなと感じました。</p> <p>はい。改めて委員さんから整理をしていただきました。</p> <p>(事務局、挙手)</p> <p>はい。ではお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。貴重なご意見ありがとうございます。事前質問のまとめでも委員さんの(資料5の)④の質問で、「分析した評価をするべきじゃないか」というご質問をいただいているところになります。ページといたしましては、2ページ目になります。2ページ目の上のところの一番下段になりますね。ご意見いただいた中で「分析した評価をするべきではないか。またなぜ評価が★★★なのか。」ということを書いていただいています。</p> <p>それに対しまして、地域福祉課の方で回答の一番下ですけれども、「各課によって評価の判断等にずれがございますので次年度に向けて、評価の統一を図れるように調整して参ります。」ということをお返事させていただいております。</p> <p>今回様式も変わったこと、以前からいろいろとご意見いただいていることも踏まえまして、数も多いということでちょっとうまく統一ができてなかったというのが正直なところございまして、貴重なご意見を踏まえまして、今後、来年に向けてしっかりと、各課にも、ちょっとしたコメント、特記事項、委員からもご意見をいただいたように、何か変わってきたよってということもわかれば、付け加えていただけるようにちょっと調整もしていきたいなと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>事務局も以前からも、このことについての課題意識は持ってるということは伺っておりますけれども、是非ともこれはもう大きな宿題タスクとして、よろしくお願申し上げます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜意見なし＞</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>また、何かお気づきのことがあれば、後程、ご質問いただいても結構かと存じますので、次の議題に移って参りたいと存じます。</p> <p style="text-align: center;"><b>◆次第4 令和6年度 主な推進施策について</b></p> <p>令和6年度、次年度の実施、地域福祉計画の推進施策が挙がっております。</p> <p>これにつきまして、事務局からご説明をお願いいたします。</p>

事務局	<p>&lt; 資料3 について説明 &gt;</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。  非常に意欲的に、新しい事業にも取り組んでいただいております。  これにつきまして、各委員様からご質問、ご意見をちょうだいしたいと思いま  す。  いかがでしょうか。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>お願いします。</p>
委員	<p>私の質問は2点ありまして、1つは地域ボランティア等の担い手育成の事業を、  来年度100万円の予算でされるということで、先ほどの説明で、若年層をターゲッ  トにというような説明があったかと思いますが、若年層をターゲットに、地域ボラ  ンティアを育成していくと言ったときに、どういう仕掛けをするのかっていうこと  はすごく大事なのではないかなと思うのです。</p> <p>特に、なかなか若い人たちに関心を持ってもらうにはボランティアも様々なボラ  ンティアがあります。福祉関係もありますし、それから災害ボランティアもありま  すし、それ以外の地域の活性化のための様々なボランティアもあると思うのです  が、どういう仕掛けで若い人たちのその関心と呼ぶ取り組みをされるのか、その辺  りの仕掛けの仕方っていうのかな、どういう観点で、若い人たちに、ボランティア  のすばらしさというか、よさを分かってもらうのか。そういったことをどういうふう  に考えておられるのかっていうのを1つお伺いしたいと思っております。</p> <p>それから2つ目の質問は、ひきこもりの関係です。</p> <p>私もちょっとひきこもりの連絡会議も出たりしておりますし、特に一番気になっ  てるのが、「あんど・ゆー」の関係です。</p> <p>「あんど・ゆー」は市民の皆さんに、初回のひきこもり等の相談窓口として機能  してきていますし、約2年ほどの経験があると思いますので、そういう意味で、非  常に宇治市としては、画期的な取り組みをされたという私も評価をしているのです  が、やっぱり一番重要なのは、単に初回のご相談にお見えになった方への対応だけ  ではなくて、その継続支援、つまりひきこもりというのは、1回2回の相談ですぐ  すべて解決するわけでは全くありませんので、やっぱり長い年月の取り組みが必要  だと思います。</p> <p>そういう意味ではやっぱり継続支援に対して、どういった支援を支援メニューを  考えていくのかということがやっぱり重要ではないかなと思いますので、そういう  意味で、もちろん「あんど・ゆー」のような初回の相談窓口を開設して、専門家の  対応していただくというのは非常に大事なことではあるのですが、そういう方々、  相談にみえた方々の継続支援に対しても、何らかのこういう支援メニューをやっぱ  り考えていただきたいと私は思っております。</p> <p>以上です。よろしく申し上げます。</p>
委員長	<p>はい。2点のご質問、ご意見でありましたが、事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>委員からご質問を受けた、1点目の若年層へのボランティア活動への支援という</p>

事務局	<p>ところですけれども、継続的にこの間行っておりまして、毎月集まってくる大学生を中心にした取り組みを進めているところです。ちょっと来年度のところは、これから学生たちとも話し合っていくところではあるんですが、今年度取り組んだことといたしましては、ダイサービスで、動画を作成してPR動画を作るということをしていただいたり、学生さんが関わりやすい、または、使っているツールを使っの取り組みというところで、ボランティアをやっていただけないかというようなところで、取り組みを進めていっています。</p> <p>次年度も、できたらそういう形で、学生さんが関わりやすい、若年層が参加しやすいようなところを模索しながらやっていきたいというふうに考えているところです。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>はい。それでは2つ目はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ひきこもりにつきまして、初回のファーストタッチということで「あんど・ゆー」を考えているところではございますが、継続支援としては京都府の方に、いろいろとまた地域の方で、チームきずなというのがありますので、そちらとの連携をしっかりと図っていくようなことも考えております。</p> <p>ただ京都府だけでなく、宇治市の方は、ひきこもり支援ネットワークというのを登録団体を20数団体抱えて一緒に協力させていただいておりますので、しっかりと民間の方の活力もお借りしながら、一緒に進めて参りたいと考えております。</p> <p>継続支援の大切さはいろいろと課題があると考えておりますので、京都府、ネットワーク会議、その辺りでしっかりと取り組んで参りたいと考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。ということであります。</p> <p>よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>「地域ボランティア等担い手育成事業」は、社協ともコラボしていくということによろしいのですね。そして、おそらくネットワークと挙がっておりますけれども、市民協働推進課等々、重要なことになろうと思ひます。</p> <p>若い人はSNSに非常に強いですし、DXに強いので、そういった人たちが参加しやすいメニューを提示していく、「こういうことができますよ。」と。</p> <p>例えば、視覚障害、聴覚障害の方に「こういう支援が、あなたが自宅でパソコンを使って支援できますよ。」みたいなそういうアプローチを開発していく必要があるでしょうね。とても大事な事業が始まります。</p> <p>ひきこもりについては、これは委員が、アウトリーチのことも念頭に置かれたと思いますが、待ち受けるだけではなくて、訪問して信頼関係を作りつつ、様々な課題を受けとめサービスに繋いでいく、サポートに繋いでいくと。これも地域の力との協働が必要だろうと思ひます。</p> <p>委員、何かございますか。</p>
委員	<p>2つあるのですが、1点目の地域ボランティアのことです。</p> <p>実はひきこもりだった方が、いきなり社会に出て就労ってなかなかハードルが高いのですが、ボランティア活動の中で人の役に立つ喜びみたいなを感じて元気に</p>



委員長	はい、どうぞ。
委員	<p>皆さんが（いろいろと）されていることはよく分かるのですが、地元の住んでいるところをもう1回見直しをしないといけないと思います。</p> <p>理想は構わないと思いますが、私は地元におりますので、地域に密着した活動では、若年層の動きが確かに悪いですよ。</p> <p>現実、自分のところに住んでいる子どもたちに「勉強会をしよう。」と言っても来ないです。</p> <p>ひとつの例を出すと、来月に防災の関係で、神戸の防災センターにバスをチャーターして行きます。人数が集まらない。バスの費用が15万円もかかって。それだけのお金をかけても集まりにくいけれども、なんとか来月の10日には実施します。</p> <p>地域に密着した活動というのは、地元で足を置いた活動です。私は昔からやっています。いろいろ形が変わってますけど、地元で足を置いた活動をやっぱり実施していただきたい。</p> <p>これは意見として受け取っていただきたいと思います。以上です。</p>
委員長	<p>はい。どうもありがとうございます。</p> <p>委員は地域で汗を流していただいておりますが、その地域の繋がりが壊れていつてる。自治会、町内会がどんどん弱体化し、そこから脱退していく人が増えていつてるっていう、何か大きなその地域福祉の地殻変動が、すごい勢いで進んでおります。</p> <p>その辺りのことをしっかりご発言いただきました。</p> <p>非常に大きな問題で、日本全国で起こってる大きな大きな地域福祉課題でございますが、そういったことも視野に置きましてこの政策を進めていきたいものであります。</p> <p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p> <p>（委員、挙手）</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>今のお話聞かしてもらって私も地域密着でやっぱりやっていけないといけない、とすごく実感しております、仕事から離れて、本当に市民としての活動をやっていますけれども、以前はそういう福祉関係の仕事をしてきたんです。</p> <p>実際、自分の地域に戻りまして、いかに、本当に知らないことが多かったなっていうのが実感としてあります。</p> <p>自治会の中の一角で「ふれあいの会」を、予算をもらってやってるんですけども、「歩こう会」を月に1回、「歩こう」ということで、いろいろなところを計画してやっておりまして、皆さん、体力にも差がありまして、60代から70代の方がすごく多いのです。その中で、歩くだけではやっぱり物足りないと思いましたので、福祉関係で仕事をしてきたこともありますので、（令和6年）4月から、介護について、「頭の方も鍛えようじゃないか。」という活動をちょっとやってみるところ、集会所で30人ぐらいで済むのかなと。月1回のふれあいの会で、演奏の前にちょっと15分ぐらいの疲れのない程度のお話をしようと思っておりましたが、今、昨日もおられて理事さんおられて、30人では入らないと、40、50人が聞きたいと言って</p>

<p>委員</p>	<p>いるっていうのを聞きまして、いかに密着して地域の人と触れ合いながら、信頼関係を築きなが始めると、こんなにたくさんの人も助けも得られながら、本当に活動ができていくんだなっていうのを実感しました。</p> <p>この地域の施策についてっていうところで、私の家は木幡公民館の近くのマンションですけども、本当に救急車が鳴りっ放しで、本当に孤独死されている方も実際のところおられます。</p> <p>そういう意味合いで、ひきこもりにならないようにと言ってもなかなか難しいのですが、地道な活動として、今のところは民生委員さんが2人、うちのマンションでおられるので、相談しながら進めていくっていうように今計画はしております。</p> <p>今おっしゃったお話を聞かしてもらって、そういう繋がりが大事だなというのと、(資料3を指して)このいろいろ予算というか、育成事業を見させてもらって、どれか助けていただけたら嬉しいかなと思います。私の住んでいるマンションだけではなくて、木幡池の反対側のマンションの方も参加したいと言われると、私の住んでいるのマンションの自治会だけでは収まらなくなった場合に、これも1つの課題で、たくさんの人に、少しでも安心して安全な生活ができるように、活動はしていきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員、ありがとうございました。</p> <p>本当にそれぞれ思いを持ってらっしゃる方が地域にたくさんおられますので、その思いにをどう引き出すか、繋いでいくか、大事なことをご指摘いただきました。</p> <p>他にどうでしょう。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>はいどうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>(本委員会を指して)ここで言っているのかどうかわからないんですけど、約1年前に私、黄檗公園をグルグル回って、ベンチがね、壊れてて、杭が出て、お尻に突き刺さりそうだと報告したことがあるのですが、そのことについて、今現在どうだったと思いますか。約1年経ちました。</p> <p>はい。釘は抜かれてますけれども、板2枚でもたれるところも何もなく、全然直ってないのです。はい、1年経ちました。ベンチ1つ全然直らないっていうのは、地域福祉で考えたら、そこの公園とが、道はお年寄りとか、いろんな人が散歩で回られます。今、目立ったことは、外側の車が通る方はすごい工事がされてて、街路樹がどんどんほとんど切られています。せっかく大きくなった木が切られてて、奥の野球場のスタンドを修理されてます。その前の道とかは修理されるのかどうかかわからないんですけど、がたがた道のままです。1年経って、ベンチ1つ直せないっていうのは、進まないっていうのはどうなのだろう。もうこんな小さな、小さなことなのでですけど、こんな小さなことから、やっぱり地域福祉で考えていってもらいたいなと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。是非とも。</p>

委員長	(事務局に対して) この担当部署はどこになるのですか。
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>都市整備部公園緑地課の方に、昨年度もちょっとお伝えさせていただいたことで、ベンチ1つ直ってないというのは、またしっかりとお伝えをさせていただきたいと思います。</p> <p>小さなことかもしれないのですが、そういうご意見をいただく上で、またしっかりと繋がることも大事だなと思っておりますので、またいろいろとご意見いただけたらと思います。よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>はい。繋がるのが大事だっていう、事務局のお話でありましたので、是非ともよろしくをお願いします。</p> <p>他にどうでしょう。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>はい。どうぞ。</p>
委員	<p>先ほどの話に少し戻るのですが、若者をいかに取り込むかということで、少し私の体験を話させていただきたいと思います。</p> <p>サークル間で、大学生が私たちの難聴協会に来ました。</p> <p>聞こえの広場、それからみんなの手話勉強会の手話講演から来ていただきます。その他に交流会、他にもそういう勉強の会で若者大学生を見て、明るい感じでした。今どきの。本当そんな感じが第1印象だったたのです。ところが、見ていると、もうしっかり私たちのサポートって、そしてお話もいろいろな話、発言を求められたっていうしっかり考えて、本当に考えてお話して下さった。</p> <p>「え? こうなのか。見た目とは違う。」と思いました。</p> <p>ということは、先ほどありました、SNSだとかいろんなもので、取り込まれる中に、ボランティア活動とか少し、多分、そういう名のもとで出した場合に、真面目な方を若者が、来てくださるでしょうか。他の方はどうでしょうか。そこに何か少し面白いもの、興味を引くようなものを入れていくと、若者は、うまく取り込めると思いました。そういう体験をしましたので、ぜひ市の方でもお考えいただきたいなと思いました。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>委員のご発言に何か事務局からございますか。</p>
事務局	<p>委員がおっしゃっていた通り、若い人っていうのはすごく吸収が早いな、覚えるのも早いな、行動もすごいなっていうのはすごく感じる場所がございます。やっぱり興味を持たれたことに対しては、入り込んでこられるかなっていうこともありまして、逆に興味がなかったら、ほとんど入ってこないような傾向もあるのかな、いろんなご興味というところがどこに関心が持たれるかというのが、そこが一番の問題かと思うですけれども、先ほどから出てる SNS とか、若い方は SNS とかの中ではすごく繋がっておられますね。そういうところに着目した上で、地域ボランテ</p>

事務局	<p>ィア等の担い手育成事業もある中で、何かうまく活用ができたらいいなということで、そのボランティアも多岐にわたります。いろんなボランティア、委員長も今日落タイ新報に1面でしっかりと、PR、すごくありがたいことが載ってたのですが、ボランティアもやっぱり若い人は興味のあるところでボランティアをされるかなっていうのもありますので、そのあたり宇治ボランティア活動の方とも連携をしっかりと進めていきたいなというように考えております。よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>先ほど「地域共生社会実現サポート事業」のところで、ご説明いただいた社会福祉法人への働きかけでございますが、社会福祉法人につきましては、特に介護事業、介護事業だけではなく、様々な事業で、事業継続計画を義務づけられてきております。災害時や感染症等が起きたときに、その事業は非常に公的性質があるので、しっかり継続できるように、平時から計画を立てて取り組んでいきなさいってのが、政府の方針でございましてこれを義務化される。その時に、必ずその地域との繋がりをしっかり計画に盛り込みなさいっていうことになっております。このサポート事業につきましても事業継続計画「BCP」というふうに略しますけれども、こういったことが、地域の災害時との関わり、あるいは、福祉避難所の関わりも含めまして、大事になってくるかなと思っておるのが1点。</p> <p>それからもう1つは、本日説明の最後にございました「成年後見利用促進事業」をスタートさせるということでございます。これは、事務局が大車輪で動いていただいて、新規事業として提案されているものでございますが、これ一はやはり喜老会や、(宇治市福祉) サービス公社等々でこれまでも課題になってこられたことかなと思います。</p> <p>何かこの成年後見でご意見ご質問ございませんか。</p> <p>(事務局、挙手)</p> <p>どうぞ。</p>
事務局	<p>いまお話がありました「成年後見制度利用促進制度」については、地域福祉計画の中で、「成年後見制度利用促進制度基本計画」ということで位置づけをしております。それを実現するために、今回新規事業として実施するということです。</p> <p>さまざまな問題を抱えておられる障害者の方とか、高齢者の方に関する権利擁護センターということで、設置して、それを、いろいろなところがですね連携しながら、課題解決を図っていくというようなことです。</p> <p>既に弁護士会、司法書士会、それから社会福祉士会とかですね。そういういわゆる三士会とか、家庭裁判所とかですね。そういう関係機関も今、連携の会議を進めさせていただいているところです。これは予算自体は今議会の方に提案中ですが、そういう形で、一歩ずつ推進を進めている状態です。できれば秋頃には、しっかり設立していきたいということで考えておるところです。またよろしく願いしたいと思います。</p> <p>それから、委員がおっしゃった黄檗公園の件ですが。すみません。ちょっと言葉足らずだったかもしれませんが、これも令和6年度予算の方で、今議会の方に提案させていただいているのですが、黄檗公園は多世代の交流とかレクリエーションの場</p>

事務局	<p>と合わせまして、防災拠点としての位置付けをしておる施設でございます。来年度予算としては、今提案させていただいてるのは、1億7800万を予算を提案させていただいてまして、その中で先ほどご紹介のあった、スコアボードの電光掲示板化、あと一塁側のちょうど裏の方にトイレございますが、そこが防災トイレとして改修をするということと、周りの通路の園路の改修工事ということで、一番これが挙がっております。そういうご意見があったことはお伝えしますが、園路の改修工事自体はそこに盛り込まれております。</p> <p>ご紹介だけさせていただいておきます。私は具体的なところまで存じ上げませんが、そういうご意見もあったことはお伝えをさせていただきますのでよろしく願います。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>いろいろご協議いただいてありがとうございました。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>はい。</p>
委員	<p>1点だけちょっと思いですが。</p> <p>&lt;推進のめやす&gt;の中の「生活支援体制整備事業」について、第1層協議体について特に記述がなかったように思うのですが。</p> <p>やはり第1層協議体っていうのは、</p> <p>いわゆる第2層協議体のボトムアップでもないし、第1層協議体が第2層協議体へ上から下へおろしていくものでもないと思います。そういった意味で、エリアを超えた課題に対して、市全体の視点から、いろんな関係者が共有していく場であろうというように理解しています。そうしてみると、一番上の「地域ボランティア等担い手育成事業」であるとか、「地域共生社会実現サポート事業」とか。</p> <p>特にこの一番上の「地域ボランティア等担い手育成事業」については、やはり第1層協議体とぜひ連携するとか、単独の団体だけが「こうだよ。」みたいなことではなくて、こういった第1層協議体などとの連携も、あるいはそこからの意見とか、協力も取り付けながら実施していくと、ここに書いてある文面で読む限りは、一番いいんじゃないかなというように考えたので、ぜひ第1層協議体との連携を図りながらやって欲しいな、というのが私の感想です。</p>
委員長	<p>小学校区？</p>
委員	<p>第1層協議体は全市です。</p> <p>第2層協議体は、確か宇治市では小学校区だと思いますが。</p> <p>私が言っているのは第1層協議体です。</p>
委員長	<p>はい。</p> <p>是非ともその意見も受けとめてくださいませ。</p> <p>(委員、挙手)</p>

委員長	はい。はいどうぞ。
委員	<p>ちょっと準備されてきたので。</p> <p>特に今、今回 1 資料 1 の 5 ページのLINEの登録をされていてすごく見やすい。非常に順調に推移されてますっていうことを考えて、成功し、うまくいってると思います。どうやってやってるのかな、うまくやってるんだったらもっと、他のこともSNSで何かできるのではないかなと思います。また、なぜうまくいってるのか、理由があるのかいいところのポイントとして、何か共有いただけたらなと思います。</p> <p>もう 1 点、支援者の立場で質問というか、見て、話を聞いてて思ったことです。</p> <p>市民の皆さんの課題が結構いろいろあるんですけど、資料 1 がとてもまとまっている。このところに「課題」というのがあれば（よいと思います。）課題の目線合わせが一番大事なのかなあという、話を聞いていて思いました。</p> <p>施策がいいんですけども、その前課題の目線がその今の現場の園地のことだったり、いろんな細かなことも含めて、課題があって、行政として「今一番課題思ってますよ。」っていうのがあって、それに対して皆さんが本当にその課題が一番、気になってるのかどうかみたいところで目線が合うと、うまく施策に繋がっていくのかなと思ったので、行政の方が一番課題と思ってることがわかったら話がしやすいなというのはちょっと支援者として聞いて思いました。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>1 つはお褒めいただいたことであります。</p> <p>課題をもう少しクリアにできないかということにつきましては、もう皆さん共通のご意見だと思います。</p> <p>課題をクリアにするっていうのは、これはもう本当に大変なことで、そうするために様々なご意見をいただいたり、あるいは現状を把握したり、分析したりしているわけですので、非常に基本的なことを改めて触れていただきました。</p> <p>他によろしいですか。</p> <p>はい。それでは次の協議議題に入りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;"><b>◆次第 5 自殺対策計画 推進のめやすについて</b></p> <p>「自殺対策計画 推進のめやす」が挙がっております。</p> <p>これにつきまして、ご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>&lt; 資料 4 について説明 &gt;</p>
委員長	<p>それではただいま説明がございました、「自殺対策計画推進のめやす」につきまして、各委員からご意見、ご質問をいただきたいと思います。</p> <p>（事務局に対して）自殺対策計画を次年度かけて策定していくっていうことですね。</p>

	<p style="text-align: center;">＜事務局よりそうであると意思表示あり＞</p> <p>委員長            そういうことですね。</p> <p>                      皆さんよくご存じのように、小学生中学生の不登校が6年前から急増しております。すごい勢いで増えている。これは先ほどから話題になっておるひきこもりとも繋がっていきます。</p> <p>                      社会の繋がりから排除されている人が、ご高齢の一人暮らしの方だけではなくて、若い人にどんどん増えていっている。若い人は本当に、私たちの未来でございますので、最も大きな大きな、まさに課題でございます。</p> <p>                      そして、自殺に関しましては、生活苦と申しますか、統計上を見ますと、不況と随分こう重なっているのです。それとやっぱりご高齢の病気等で悲観してということが昔からございます。</p> <p>                      ただ、本当にこういうことは、孤立が生み出すものでございまして、雑談の中で気持ちを受け止めてもらえたり、愚痴をきいてもらうこと、さまざまな対話ができること、暮らしの中から失われていっている。その辺りが、自殺という背景にしっかりあります。</p> <p>                      大事な計画になって参ります。</p> <p>                      皆様方のお立場で何かご意見があればと思います。</p> <p>                      どうでしょうか。</p> <p>                      (委員、挙手)</p> <p>                      はい。どうぞ。</p> <p>委員                難しい質問ではないのですけれども、(資料4を指して)自殺の対策の目安に、シルバーホンのことが書いてます。</p> <p>                      私は今民生委員をやっています。この前、長寿生きがい課より「この方に(シルバーホンを)設置します」という文書がきました。勉強不足で、こちらはどうか対処しているのかなという、単純な質問だけです。</p> <p>委員長            事務局から簡単にお答えいただけますか。</p> <p>事務局            すいません。失礼しました。シルバーホンは、電話機の隣に機械をいたします。ボタンを押すと検索に繋がってですね、対応いただくということで、相手からも定期的に連絡をとらせていただいて、安全を確認するというのはそういう役割もでございます。高齢者の方ですね、安全確認とかそういうふうなことに役立てていただくんですが、その自殺の関係が言われるとちょっと。健康維持とか孤立防止というは目的があるというようなことで一様整理させていただいております。</p> <p>委員                それがたまたまね2件続いて、「対象者の方2件に設置しますよ。民生委員は工事に立ち会わなくてよいので、連絡だけしております。」という報告だけの文書を</p>
--	--

委員	<p>もらっています。名前も出せないが、こっちはわかってるんだけど、だから（自殺対策計画 推進のめやすを指して）ここに書いてあるのがちょっと私も勉強不足なので。</p>
事務局	<p>ちょっと補足です。先ほど事務局から申しましたように、単に緊急のとき自分からかけるだけではなくて、センターっていうですね、そっちの方から電話がかかってきてはどうですかみたいな、そういうサービスっていうかそれもやっているんで、そういうことで1人の一人暮らしの高齢者の孤立防止を図るということで、自殺防止を繋がるのであるかということで、ここの項目に入れさせていただいて、関係性としては直接の目的は自殺防止ではないのですけれども。</p>
委員	<p>はい。 私のところは、一人暮らしの独居老人の方が多い。私の担当の方も独居老人です。わかりました。</p>
事務局	<p>はい。ちょっとそういう意味で、すいません。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>はい。ということであります。 よろしいでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。自殺の件につきましては。 ちょっと私、進行立場で出しゃばりますが、「自殺対策」なのかなあ、もう先ほどからおっしゃっておられますように、これはあってはいけないことなのもうストレートに「自殺防止計画」でいいんじゃないのかなと。「自殺対策計画」は政府が使ってるからでしょうけれども、「自殺防止計画」とストレートに表現する方がいいかなと私は思ったりします。 次年度、しっかり内容があるものが策定されることを期待しております。</p> <p>ありがとうございました。 それでは委員からお知らせがございましたか。 簡単に説明してください。</p>
委員	<p>すいません。それでは、私が皆さんの参考にとということで配らしていただきました。「宇治・食と子どものネットワークの設立について」という文章でございます。</p> <p>実は昨夜ですね、宇治で特に貧困などの理由によって、満足のいく食生活がなかなか送れていない子どもたちが、ある程度、かなりいるのではないかとということ、いろいろ情報で聞いております。そういうなかなか満足のいく食生活、例えば、毎晩、カップラーメンしか食べられないような子どもさんとか、朝ご飯がなかなか食べられずに学校行っておられるお子さんとかですね、実態としては、正直言って私もわかりません。なかなかそういうお子さんたちがやっぱりある程度宇治の中にもいらっしゃるということをいろいろ聞くものですから、子ども食堂を私も関わってやってるんですけども、なかなかそういう本当にしんどい子</p>

委員	<p>どもさんたちに、なかなか食の支援というのが届いていないという現状があるかと思しますので、そういう子ども食堂などをやってる団体を中心に、できたら食を通じて、子どもたちの応援といいますか支援ができればいいんじゃないかということで、11 ぐらいの団体の関係者の皆さんが賛同してくださいましたので、昨日、食と子どものネットワークというのを作らせていただきました。</p> <p>そういったことで、ちょっと子の貧困も関わってくる問題だと思いますが、こういうことを今やっているということで、ご紹介をさせていただきましたよろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございます。大事な取り組みでございます。他に何か、各委員からお知らせがございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p style="text-align: center;"><b>◆次第 6 その他</b></p> <p>それではその他に移らせていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>はい。次第の 6 番その他といたしまして、ご説明させていただきます。こちらお手元には資料等ございませんので、口頭にてお伝えいたします。</p> <p>来年度の地域福祉推進委員会のスケジュールでございますが、来年度は、今回の委員会でご説明した資料 1、資料 2 につきまして、令和 5 年度の事業実施状況を基にした進捗管理を行って参ります。</p> <p>また、宇治市自殺対策計画の最終年度になりますので、次期計画の策定に向けた協議を、この地域福祉推進委員会の中で実施させていただきます。</p> <p>次回の地域福祉推進委員会は、令和 6 年夏ごろ開催を予定しておりますので、来年度もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございます。その他は以上ですね。</p>
事務局	<p>最後ちょっとご挨拶だけ。</p>
委員長	<p>はい。それじゃ、進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>はい。皆さん本日は熱心なご議論をいただきまして、ありがとうございます。本日、いろいろご意見いただきました中でもやはり、我々も非常に苦心したこととして、この評価表とか、推進のめやすのところですね。</p> <p>非常に事業数、まずたくさん事業数を入れ込むというところから始めているもので、非常に多い中で、なかなか統一感が寄せていないということは、ご指摘いただきました通りで、我々としても課題として思っております。</p> <p>本日 3 つのゴールということ委員からもいろいろなご意見をいただきました</p>

事務局	<p>ので、ひとつその記載のモデルなどを作りながら、各課で統一感を出せる記載をしていきたいなというように思っております。</p> <p>それから地域の繋がりについてのご意見をいただきました。</p> <p>これやはり、市を挙げて取り組んでいく必要がある課題かなということで、我々としてはその地域福祉の観点からどういったことができるのか、生活支援体制整備との連携とか、ボランティア活動の推進ということも含めて取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>最後に自殺対策、委員長から自殺防止計画の方がいいのではないかというご意見をいただきました。来年度、しっかりと取り組んでいきたい、計画策定の方に取り組んでいきたいと考えております。この自殺対策はなかなか即効性のある対策っていうのはなかなか難しいところではあるんですがそういった中で、どういったことができるのか、また皆さんからのご意見を賜りたいと思っておりますので、来年度よろしく願いいたします。</p> <p>以上今年度の会議につきましてはこの第2回で終了となります。</p> <p>まず、この1年間の皆様のご尽力、改めて御礼を申し上げますとともに、来年度も引き続きご協力をお願いいたしまして、閉会にあたっての私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>1年間本当にありがとうございました。</p> <p>では以上でございます。ありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>
-----	---